

平成29年度 自己評価表

松山南高等学校（全日制課程）

学校番号（22）

教育方針	国家社会の有為な形成者として、広く世界的視野に立ち、新しい文化の創造と発展に寄与する若人の育成を期する。	重点目標	志高く、未来を切りひらく人材を育てる －国際的視野とキャリアデザイン能力の育成－
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
自己実現の支援・個性伸長の支援	生徒の自己実現の積極的な支援	1日平均家庭学習時間： 学年＋2時間	C	1年生平均135分（-45分） 2年生平均152分（-88分） 3年生平均248分（-52分）	家庭学習の意義を理解させるとともに、早めに進路意識を持たせる。また、早めに家庭学習時間調査の実施時期を周知させる。
		現役生の国公立大学合格者数： 250人以上	B	3月末現在で231名（国立大177名・公立大54名）が合格。昨年同時期より9名増。	入試制度の変化や多様な選抜方法に対応できるよう、総合的な力の育成に努める。
		現役生の難関国立大学合格者数： 20人以上	B	3月末現在で11名が合格。昨年同時期よりも3名増。これと別に愛媛大医・医にも2名合格。	大学見学等への参加により挑戦意欲を育てるとともに、目標や適性に応じた個別指導を充実させる。
		全国模試平均偏差値：60以上	B	進研模試で1年生61.39（3回） 2年生59.2（3回） 3年生文系54.5 理系53.1（5回）。	課題を教員間で共有し、情報交換を進めながら、バランスのとれた学習ができるよう各教科に促す。
	生徒の個性・能力の伸長の支援	部活動加入率：90%以上	A	全校生で90.0%の入部率である。特に2年生は、体育部加入が65%（兼部含）と高い。	秋以降（新人戦、高文祭後）の退部者が続く傾向が見られるので、3年間継続できる支援や環境作りを心がける。
		県高校総体出場種目数（人数）： 全種目出場（250人以上）	B	サッカー部以外の部が出場し、参加数232名であった。	校外施設の利用等、練習環境を整えて効率のよい活動に励む。 団体エントリーのみならず、個人戦への出場権獲得数の増加を目指す。
県高校総文祭優秀賞： 6部門以上		B	文芸部門2、自然科学部門1と例年より少ない優秀賞受賞となった。	個々の活動の質を高めるような支援や校内外で文化的活動の成果を披露する機会を増やすように努める。	

豊かな教養の涵養・豊かな人間性の育成	豊かな教養と広い視野を備えた生徒の育成	全国レベルの科学コンテスト 入賞数：3件以上	A	日本学生科学賞最優秀賞、マリンチャレンジプログラム中国・四国大会優秀賞、坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト優良入賞、愛媛県高等学校総合文化祭優秀と、全国レベルの入賞は4件であった。	初めての受賞など積極的な取組が見られた。引き続き生徒・指導教員の意識改革に力を入れ、課題研究や科学系部活動の活性化を図る。
		理数科生徒のAO・推薦入試 合格者数：10人以上	A	国公立大学AO6名推薦4名、私立大学推薦2名が合格し、合計12名であった。昨年に比べ8名増。	SSHでの経験から、自分の特性を生かした進路目標を設定し、実現することができた。
		創作活動や各種コンテスト等への チャレンジ：1件/人以上	A	NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝進出、全国サクソフォンアンサンブルコンテスト金賞をはじめ、各種コンテストに出場し、入選を果たした。	各種コンクールに申し込みができる環境を整え、個々の活動の機会を高める支援をする。
	心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成	出席率：99%以上 不注意による遅刻者数： アンダー300	C	3月13日現在、出席率は1年生99.0%、2年生98.8%、3年生98.4%であった。不注意による遅刻は延べ428人であった。	昨年に比べ改善傾向にあるが、数値目標をクリアできなかった。より一層魅力ある学級・学校づくりに努める。
		いじめ問題発生件数：0件	C	いじめを認知するような事案は0件だが、いじめにつながる可能性のある事案が数件発生している。	いじめにつながる芽を早期発見し、着実に対応するよう努める。 被害者に寄り添った指導の徹底を図る。
		重大交通事故発生件数：0件	B	5月に大腿部骨折による長期入院を余儀なくされた事案が発生した。	事故件数自体は減少したが、自転車の通行マナーに関する一般の方からの声は依然として厳しい。これらを事故の芽としてしっかりと対応したい。
		<u>「オール南高」の意義を理解できた生徒の割合：70%以上</u> (今年度新規)	B	全定分のオール体制で同窓会入会式・「卒業を祝う会」を実施、わたなべひろこ氏の講演を実施することができた(2/28実施)。	今年度の盛り上がりを今後とも継承し、合同卒業式等の生徒のためになる「オール松山南高」づくりに努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。